

平成28年5月 教育委員会会議録（要旨）【5月20日（金）】

〔開会の宣告〕 岡教育長	平成28年5月定例教育委員会会議を開会する。
〔会議の成立〕 岡教育長	本日は、私の他5人の委員が出席しているので、この会議は成立する。 会議録署名人は、泉委員と私とする。
〔公開の審議〕 岡教育長 岡教育長 岡教育長	本日の会議日程について、議第30号および31号については、「教育予算その他議会の議決を経るべき議案についての意見の申出に関する案件」に該当すること、 報告（4）については、「教育委員会事務局及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関する案件」に該当することから、会議規則第13条に基づき非公開の審議が適切と考えるが、意見を伺いたい。 採決する。議第30号および31号、報告（4）について、非公開に賛成の委員は、挙手をお願いする。 （全員挙手） 全員賛成により、議第30号および31号、報告（4）については、非公開とする。
日程第1 前回会議録承認	
岡教育長 岡教育長	3月22日開催の平成28年第2回臨時教育委員会会議録 3月29日開催の平成28年3月定例教育委員会会議録 を承認することに異議があるか。 （異議なしの声） 異議なしと認め、前回会議録を承認する。
日程第2 事務局報告	
（1）事業・行事等報告について	

平成28年5月 教育委員会会議録（要旨）【5月20日（金）】

○ 前回会議（H28.3.22）以降の事業・行事報告（主なもの）

4月 8日（金）	必由館高校・千原台高校入学式 始業式
11日（月）	中学校入学式 総合ビジネス専門学校入学式
12日（火）	小学校入学式
13日（水）	幼稚園入園式
14日（木）	校長・園長代表者会

○ 今後の予定（主なもの）

5月23日（月）	平成28年度熊本市町村教育委員会連絡協議会定例会
31日（火）	第1回指定都市教育委員・教育長協議会
6月14日（火）	校長・園長代表者会

日程第5 報 告

・報告（1） 平成28年熊本地震における学校施設の被害状況及び学校再開状況の報告
について

《緒方教育政策長 報告》

森委員

現状・現況については報告していただいたが、例えば校舎が使えない東野中学校のように、授業をする場としてプレハブ教室が必要なもの等の見通し等についても、合わせて説明できるようにであればお願いしたい。

山口施設課長

東野中学校は教室棟に被害があり17教室が使用できないことから、現在は管理棟・特別教室棟および体育館を使用して授業を行っている。現在、運動場にプレハブを建設すべく準備を進めており、早ければ8月の半ば過ぎには完成する予定であり、8月の終わり頃には使用できるようになるかと考えている。

森委員

東野中学校以外にはプレハブを建設して対応する必要がある学校は無いということか。

山口施設課長

その通りである。体育館については使用できない学校が24

<p>森委員</p>	<p>校あるため、体育の授業については不便な状況だと思うが、教室については損傷もほとんどが落下物だけであったため、除去することで使用が可能となった。</p> <p>東野中学校の教員に会う機会があったため、学校再開後の状況も聞いたが、体育館での授業というのは仕切りの無いところで複数のクラスが授業を行うため、生徒としては非常に聴きづらいということだった。一方で、教師が大きな声を出すと反響してしまい、周囲の別のクラスの授業にまで支障を来してしまうとの話もあり、非常に授業が行い難い状況であるという話もあった。出来るだけ早くこのような状況を解消していただくようお願いする。</p>
<p>田口委員</p>	<p>2点お尋ねする。1点目は5月11日の段階でカウンセラーを全中学校区へ配置したということであったが、常々カウンセラーは非常に不足していると聞いている。このカウンセラーは、県外からの応援も含めて全中学校区へ配置したということか。</p>
<p>橋爪総合支援課長</p>	<p>5月11日から13日までの期間、全中学校区へ配置したカウンセラーについては、熊本市で契約している臨床心理士と、全国から協力を得た学校心理士の2つの団体と協力して対応した。5月16日から18日までの期間、重点校に配置した分については九州臨床心理士会の協力を得て対応した。また、23日からは日本臨床心理士会からの協力を得て、重点校および全校配置に向けて準備を進めていく予定である。</p>
<p>田口委員</p>	<p>2点目だが、5月13日に「平成28年熊本地震学校教育緊急ダイヤル」を開設とあるが、これは保護者に対してどのように周知を行ったのか。また実際に相談はあっているか。</p>
<p>橋爪総合支援課長</p>	<p>市のホームページに記事を掲載したほか、避難所においては、お知らせを掲示した。相談は、既に寄せられている状況である。</p>
<p>泉委員</p>	<p>今回の地震に対する速やかな対応について感謝する。カウンセリングに関することだが、アンケートも速やかに実施され、カウンセリングが必要な生徒をピックアップしていただいたが、これから少しずつ様子が変わり、カウンセリングを必要とする生徒が増えてくる可能性もある。今後はどのような計画で</p>

橋爪総合支援課長	<p>アンケートやカウンセリングを実施していく予定か。</p> <p>6月初旬に再度アンケートを実施する予定である。また臨床心理士については、23日から毎日1人を全中学校区に配置することになっている。今回、特に小学校について心のケアが必要な児童が多くいるということが分かっているため、小学校について重点的にケアを行う計画を立てているところである。まず夏休み前までは毎日そのような環境で子ども達の心のケアにあたりたいと考えている。また目標としては今年度いっぱい3月まで継続したいところである。子ども達の心のケアについては、今はケアの必要がないとしている子ども達の中にも、今後心の中のことを話すうちにケアが必要となる子どもが出てくる可能性もあるため、中長期的な取組を計画しているところである。</p>
田口委員	<p>知人が春日小学校に避難していたため春日小学校を訪問し、校長と話す機会があった。この報告資料にも避難所に配置された教員数が記されているが、実際にはこれよりも多くの教員が何日も泊まり続けて頑張っただけ対応していたのを実際に目にした。各学校の先生方へ御礼を伝えて欲しい。</p>
出川委員	<p>児童生徒へのケアが速やかに行われることで、この地震の影響が子ども達に対してあまり強く出ないことを願っている。ケアにあっている教員もまた被災者であるが、それについての対応は何か考えているか。</p>
木櫛教職員課長	<p>教職員に対するケアについては、先ほどからお話に出ているカウンセラーに、基本的には子ども達のケアをしていただくものの、空いている時間で教職員からも相談を受けていただくようお願いしているところである。</p>
森委員	<p>今回特に被害がひどいのは東部だが、り災証明でいう全壊・大規模半壊・半壊などで全く家に住めないという児童・生徒もしくは教職員がどのぐらいいるのか、といった被害状況の把握は学校ごとに進んでいるのか。何とか家に帰ることができて家族と生活出来る子どもは少しずつ生活を取り戻していくことが出来ると思うが、未だに家には戻れず避難所もしくは車の中で生活している子どもは、地震から1ヶ月2ヶ月経っていく中で疲労が溜まり、極限に近づいているのではないかと思う。仮設</p>

<p>濱平次長</p>	<p>住宅は建設に入っているもののすぐには入居できず、みなし仮設も空きがなく簡単には入居できない現実がある。そのようなことから、子ども達や教職員の中で家に帰ることができない人を把握してケアしていく必要があり、そのための調査確認が必要ではないかと考えているが、この点についてはどのようになっているか。</p> <p>各学校ではアンケートを基に現在の子ども達の状態の把握に努めている。また子ども達によっては他校へ転校したり、他県にある祖父母の家へ避難し通学するために体験入学という形を取っている場合があるため、5月1日現在の在籍状況について学務課で調査をしているところであり、今日ぐらいで集計が完了する予定である。ただし車中泊をしている等の個別の被害状況については、まだ担任が把握をしているという段階であり、事務局に総数の報告が上がって来ている状況ではない。</p>
<p>日程第3 議 事</p>	
<p>・議第34号 熊本市立高等学校学則等の一部改正について</p>	<p>《竹下指導課長 提出理由説明》</p> <p>[採決] 【原案どおり承認された】</p>
<p>日程第4 協 議</p>	
<p>・協議（1） 平成28年度全国学力・学習状況調査の実施について</p>	
<p>日程第3 議 事</p>	<p>《竹下指導課長 説明》</p>
<p>・議第32号 熊本市いじめ防止等対策委員会委員の委嘱について</p>	<p>《橋爪総合支援課長 提出理由説明》</p> <p>[採決] 【原案どおり承認された】</p>

<p>・議第33号 熊本市立図書館協議会委員の委嘱について</p>	
	<p>《高守市立図書館長 提出理由説明》</p> <p>〔採決〕 【原案どおり承認された】</p>
<p>日程第5 報 告</p>	
<p>・報告（2） 平成28年第1回定例市議会報告について</p>	
	<p>《深水学校教育部長 報告》</p>
<p>・報告（3） 平成29年度熊本市立学校教員採用選考試験について</p>	
	<p>《木櫛教職員課長 報告》</p>
森委員	<p>個人面接を2回実施するという説明があったが、これは例年と同様の1週間程度の期間の中で2回実施するというのか。日程や必要な人数の面接官が確保できるのか。</p>
木櫛教職員課長	<p>個人面接の内容であるが、全2回のうち第2回目の面接については昨年実施した個人面接と同様の内容を予定している。新たに追加する第1回目の面接については、昨年実施した集団討論の対応を行った日程とスタッフで実施することを考えている。必要な日程や人員数は昨年と変わらず、内容を集団討論から個人面接へ変更するという形である。</p>
森委員	<p>1回目と2回目で面接官が異なるが、配点はどのように考えているか。</p>
木櫛教職員課長	<p>配点については、資料4頁にお示ししている通り2回合わせて180点としているが、その配分はまだ検討中である。</p>
田口委員	<p>集団討論から個人面接へ変更した理由は何か。</p>
木櫛教職員課長	<p>集団討論はコミュニケーション能力等をはかることを目的として実施していたが、現状では受験者の受験対策が進んでいることから、個人面接での面接官に対する受け答えや、そのやり</p>

平成28年5月 教育委員会会議録（要旨）【5月20日（金）】

<p>崎元委員</p> <p>木櫛教職員課長</p> <p>田口委員</p> <p>泉委員</p>	<p>取りを通してコミュニケーション能力をはかりたいと考え、回数を増やすこととした。</p> <p>異なる面接官で2回実施するという事は、面接官の信頼度を上げるという主旨なのか、1回目と2回目では面接の観点を変えるという主旨なのか、どちらか。</p> <p>1回目の面接については、比較的若い面接官により、受験者の資質・個人の能力をみたいと考えている。2回目の面接については、昨年と同様に出来るだけ総合的評価としての評価項目を設定し、多面的な評価が実施できるようにしたいと考えている。</p> <p>個人的な感想としては、個人面接においても受験対策を完璧にしている受験生が多く、素顔をみるのが難しいという印象を持っている。1回目の面接官についても、その点の対策をしっかり行って、面接を実施して欲しい。</p> <p>集団面接の実施等、何か工夫をしていく必要があると考える。</p>
<p>・報告（5） 平成27年度における体罰について</p>	
<p>出川委員</p> <p>木櫛教職員課長</p> <p>森委員</p> <p>木櫛教職員課長</p>	<p>《木櫛教職員課長 報告》</p> <p>このアンケート結果への対応は学校ごとに異なるか。例えば回答に「〇〇先生から体罰を受けた」といった記述があった場合、教師本人にも知らせて聞き取り調査を行う等の対応をしているか。</p> <p>そのような対応を行っており、全校同様である。アンケートで名前の挙がった教師は、本人もそのことを知っている。</p> <p>体罰に関するアンケートを実施するようになって、まだそれほど年数は経過していないが、調査開始以来、名前が挙がった教師の中で複数回指導を受けた教師はいるか。</p> <p>残念ながら、異なる年度において複数回、名前が挙がった教師はおり、しっかりと指導している状況である。なお、同一年</p>

<p>森委員</p>	<p>度で2回、名前が挙がった教師はいない。</p> <p>同一年度でなくとも、例えば3月と4月で名前が挙がった場合は、常習性が高いと言えると思う。やはり、複数回名前が挙がった教師については、特別なプログラムをもって指導する必要があるのではないかと考える。今後、回数を重ねる中で、2～3年前に注意を受けた教師が再び体罰を行ってしまった場合等を含めて、複数回の指導対象という問題は出てくると考えられる。初回の指導で改善され体罰がみられなくなれば良いが、なかなか改善しない教師に対する指導方法については考えていく必要があると考える。</p>
<p>岡教育長</p>	<p>今後、検討していく。</p>
<p>出川委員</p>	<p>「体罰」は体に触れて殴る蹴るということを中心に想定してあると思うが、例えば、体には触れなくても、真横の壁を叩くなどといった行為も不適切な指導であると思う。そのような不適切な指導についても考慮しているか。</p>
<p>木櫛教職員課長</p>	<p>調査結果の51件という数字には、体に触れるものだけでなく、威圧的な指導により子どもに恐怖心を与えたもの等、有形力ではないけれども体罰に準じるような影響を与えたものも含まれており、対応しているところである。</p>
<p>・報告（6） 不登校対策サポーターについて</p>	
	<p>《橋爪総合支援課長 報告》</p>
<p>崎元委員</p>	<p>これは、どのぐらいの人数を配置して、どのぐらいカバーしようとしているのか。</p>
<p>橋爪総合支援課長</p>	<p>地震の影響により遅れてしまったが5月18日から、ある1つの中学校区へ1名の不登校対策サポーターを配置しており、小学校・中学校の個別ケースの対応を行うほか、特に職員組織について、情報共有や外部との連携等をきちんと行えるように変えることで、不登校児童生徒数の減少を図っていく。2学期以降の継続についても様子をみながら検討中である。</p>

平成28年5月 教育委員会会議録（要旨）【5月20日（金）】

崎元委員	モデル事業として取り組んでいるということか。
橋爪総合支援課長	その通りである。
泉委員	これまでも不登校児童生徒の総数は報告を受けて来たが、学校別の分布等を聞いたことはない。学校によって差があるのか。可能な範囲で教えてもらえないか。
橋爪総合支援課長	例年、総数だけでなく、例えば生徒100人あたり何人の不登校者がいるかといった学校ごとの出現率や、不登校「気味」の児童生徒等、様々な要素についてデータを収集している。しかし、結果については学校ごと年度ごとに変動があるというものではなく、大体、どの学校も同程度の出現率であり、今年はA中学校が昨年はB中学校が多い、というようなものではない。
泉委員	どのような要因があって不登校となったかという点についても分析しているか。
橋爪総合支援課長	分析している。
<p>・報告（7） <u>平成27年度熊本市学校給食調理等業務委託評価報告書について</u></p>	
	《森田健康教育課長 報告》
<p>・報告（8） <u>広報広聴関係について</u></p>	
	《緒方教育政策課長 報告》
<p>[非公開の審議]</p>	
<p>日程第3 議 事</p>	
<p>・議第31号 <u>専決処分の報告について（熊本市学校給食共同調理場設置条例の一部改正）</u></p>	
	《森田健康教育課長 提出理由説明》
	[採決] 【原案どおり承認された】

<p>・議第30号 和解の成立について</p>	
	<p>《竹下指導課長 提出理由説明》</p> <p>[採決] 【原案どおり承認された】</p>
<p>日程第5 報 告</p>	
<p>・報告（4） 平成29年度熊本市立学校管理職採用選考試験について</p>	
	<p>《木櫛教職員課長 報告》</p>
<p>[閉 会]</p> <p>岡教育長</p>	<p>本日の日程は全て終了したので、平成28年5月の定例教育委員会会議を閉会する。</p>